

thank you! 次の方々から貴重な資料をいただきました。

- 織田信長 朱印状 他22件
- 加茂農林関係資料12件
- 森 俊郎さん (古井町)
- 土屋 耕美さん (下米田町)
- 大矢峻嶺作品
- 大畑(前田)威関係資料他
- 麟慶寺 (春日井市)
- 大畑 和郎さん (森山町)
- 『SATYA』(24冊)
- 佐野一彦 著作物遺品
- 篠田 康彦さん (岐阜市)
- 佐野 綾目さん (伊深町)
- 大矢峻嶺関係資料
- 合併関係資料他
- 花村 康秀さん (関市)
- 安田 守さん (清水町)
- 合併関係資料他
- 版画作品他
- 川合 良樹さん (蜂屋町)
- 堀江 良一さん (加茂野町)

ありがとうございました

美濃加茂Annual 2015

一森のオープンスタジオ
森中が、様々なアーティスト達のオープンスタジオとなります。森を散策しながら、自然と響きあう現代美術を体感してみませんか。



徳重道朗「cave」



植松ゆりか「Control freak」

- 会期 5月1日(金)～5月3日(日)
初日のみ13:00～
- 会場 敷地内野外

関連企画

- 「あおぞらシンポジウム」 当日受付(野外休憩小屋付近)
- 日時 5月3日(日)14:00～15:00 ●参加料 無料
- ※雨天時は生活体験館「まゆの家」で開催します

森の観察日記 27

ホオノキ

その葉は朴葉味噌や朴葉餅などに使われることで知られています。単葉(葉一枚からなる葉)としては国内で最大級の大きさといわれています。写真1は葉が開く前の冬芽の様子です。冬芽は4月になり徐々に開き始め、赤みがかった茶色の托葉(写真2)を見ることが出来ます。この時期限定のあたたかい自然の色です。



(写真1)

(写真2)

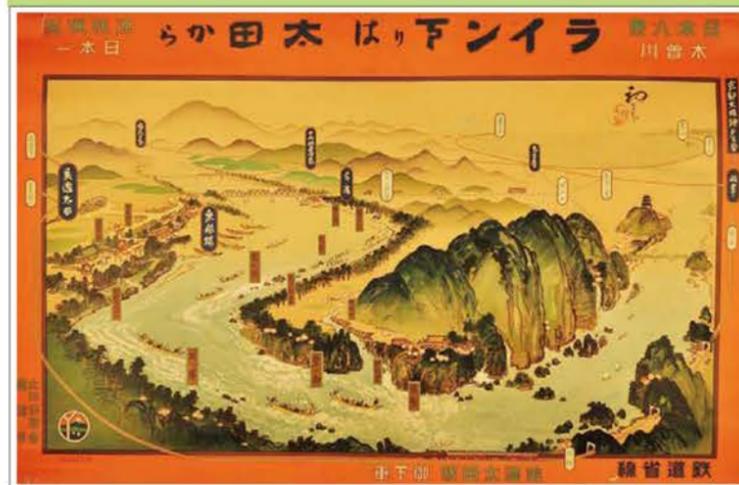
托葉…葉ではなく、葉の付け根にある付属物。葉を包んで保護したり、伸びる前の葉を守ったりするなどの様々な役目がある。芽吹きと共に多くは落ち、ホオノキの托葉もすぐに落ちてしまう。

MUSEUM NEWS

みのかも文化の森 vol.77

2015年3/25発行

BUNKANOMORI EXHIBITION I



「日本ライン下りは太田から」ポスター 1928(昭和3)年

1913(大正2)年、地理学者の志賀重昂が木曾川の風景を賞賛したことをきっかけにして「日本ライン」という呼称が生まれます。1927(昭和2)年、新聞社主催の日本新八景の河川部門の1位に選ばされると木曾川が名所として全国に知られます。本展では名所「日本ライン」の変遷を通して、「風景」「郷土」の魅力にあらためて気づいた人々の意識の芽生えを追います。

「ラインの風景」展

—めぐる人々とその歴史—

- 会期 2015年4月18日(土)～6月7日(日)
- 会場 企画展示室

- 観覧料 一般…200円(100円)
かるちすとくらぶ会員及び高校生以下…無料
()内は20名以上の団体料金

国際博物館の日
5月17日(日)は「国際博物館の日」を記念して観覧料は無料となります。

「かるちすとくらぶ」入会のご案内

「かるちすとくらぶ」はみのかも文化の森と、美濃加茂市文化会館共通の友の会です。ふたつの施設を楽しむための特典をご用意して、皆様をお待ちしています。

- 例えば、こんな特典があります
- 陶芸体験などの会員限定講座開催!!
 - 一日研修バスツアーへの参加
 - みのかも文化の森内カフェ「bee cafe」のドリンクチケットプレゼント(モーニングO.K.)
 - 「ミュージアムニュース」「文化会館だより」の送付(年4回)
 - 市民ミュージアム観覧料フリーパス…etc.

さらに!! カード裏面のスタンプをすべて貯めるとbee cafeでおいしいプレゼントが!!

2014年度の一泊研修バスツアー PICK UP!



2014年度はヤマザキマザック美術館、徳川美術館に行きました。学芸員さんに作品の解説をしていただいたり、おいしいランチに舌鼓をうったりと、ご家族、ご友人といっしょにアートにふれる楽しい時間になりました。

入会について

- ①年会費 1,200円
お申し込みいただいた翌年の同月末まで有効です。
 - ②お申し込み方法
それぞれの施設に設置してある申込用紙にご記入の上、会費を添えて窓口でお申し込みください。郵便局、銀行振り込みでもお申し込みすることも可能です。詳しくはお問い合わせください。
- その他詳細やご不明な点などについてはお気軽に各施設(文化の森:28-1110)へお問い合わせください。お電話での入会受付は行っておりませんので、ご了承ください。

皆様のご入会をお待ちしております

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM
〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

■3月・4月・5月・6月の休館日
3月30日 4月6日、13日、20日、27日 5月7日、11日、18日、25日
6月1日、8日、15日、22日、29日

■交通
鉄道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分
自動車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)
平日/日本昭和村・富加線(1日3往復)
土日祝日/文化の森公園線(1日7往復)

運賃/一般200円 小中学生100円 未就学児無料
時刻表/詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください



forum & event	日時	会場	内容
ミュージアムトーク スペシャルトーク	5月9日(土) ①11:00～②14:00～	企画展示室	日本ラインを描いた画家吉田初三郎を中心に解説します。 講師:松永直幸氏(鉄道史学会会員) 参加料:無料(企画展示室入場料が必要です) 【申込不要】
ミュージアムフォーラム 風景と郷土を 見つめはじめた時代	5月24日(日) 13:30～15:00	研修室	「風景」「風土」「郷土」の歴史と今を考えます。 講師:羽賀祥二氏(名古屋大学大学院文学研究科教授) 定員:42名 参加料:無料 申込方法:当日受付(30分前より)
ミュージアムイベント ラインの風景を訪ねて	5月30日(土) 10:00～15:30	犬山市ほか	ライン下りのゆかりの地などをバスで訪ねます。 定員:30名 参加料:300円 申込方法:事前申込[4/25(土)～5/17(日)]
ミュージアムトーク 企画展展示解説	4月18日(土) 5月15日(金) ①11:00～②14:00～	企画展示室	当館学芸員が展示の解説を行います。 参加料:無料(企画展示室入場料が必要です) 【申込不要】

※「国際博物館の日」…1977年に国際博物館会議(ICOM)が設けた博物館の日です。5月18日を中心に様々な記念行事が世界中で行われます。

事前申し込みについて

はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

イベント minokamo city museum

日時	名称	会場	参加料	定員	内容
4/4(土) 10:00～	ボランティア説明会	ボランティア室	—	—	文化の森のボランティアを募集しています。一緒に文化の森で活動しませんか?(18才以上)
4/18(土) 14:00～15:00	第149回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:『ふるさと銀河線』より 「幸福が遠すぎたら」高田 郁/作
4/25(土) 8/30(日)	收藏品展 蚕とまゆ展	生活体験館 民具展示館	無料	—	この地域は、古くより養蚕が盛んでした。蚕とまゆの生育とその道具の使われ方を紹介します。
4/26(日) 9:30～17:30 (終了予定)	第15回 「春・朗読の一日」	緑のホール	無料	120席	「春・朗読の一日」は自分たちのスタイルで表現する朗読を行い、参加者全員で楽しむ催しです。この機会にぜひ文化の森へお集まりいただき、朗読三昧の一日を味わってください。
～4/26(日)	收藏品展	美術工芸展示室	無料	—	美濃加茂市民ミュージアムの收藏品の中から美術工芸品を展示します。
5/16(土) 14:00～15:00	第150回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「最初の質問」長田弘/詩 いせひでこ/絵 『月下の恋人』より「情夜」浅田 次郎/作 ほか
5/31(日) 14:00～15:00	森のコンサート 「アコースティックコンサート」	エントランス ホール	無料	200名	アコースティックギターの弾き語りによるコンサートを開催します。 出演:HOTNOTE(坂井 聖奈、河合 達也)
6/20(土) 14:00～15:00	第151回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「おっきょちゃんとかっぱ」長谷川 摂子/作 『御伽草子』より「猫の草子」 ほか
6/21(日) 10:00～12:00	第24回 ゴールデンアート劇場 ビデオ上映会	緑のホール	無料	120席	「世界・美の旅～ラ・トゥール～」(上映時間約30分)をくり返し上映します。

ていねいな暮らし講座 minokamo city museum

日時	名称	内容	申し込み方法	会場	参加料	定員
～4/3(金)	年中行事 ひなかざり	土びなを飾り、野山の花をそなえます。【自由観覧】	—	生活体験館	—	—
4/18(土) 5/5(火)	年中行事 鯉のぼり立て	鯉のぼりを立て、ショウブとヨモギを屋根にふきます。【自由観覧】	—		—	—
5/2(土) 9:30～12:00	お茶摘み	お茶の葉を摘んで、番茶を作ります。(雨天中止)	当日受付 (30分前より)		100円	20名
6/20(土) 10:00～12:00	真綿づくり	カイコのまゆから真綿を作ります。真綿の用途を知ります。 持ち物:タオル	当日受付 (30分前より)		200円	20名

アートな一日講座 minokamo city museum

日時	名称	内容	申し込み方法	会場	参加料	定員
4/19(日) 13:00～16:00	モザイクタイル アート	メモスタンドをカラフルなモザイクタイルで飾ります。 持ち物:エプロン、タオル	当日受付 (30分前より)	エントランス ホール	700円	20名
5/24(日) 13:00～16:00	ガリ版風版画	昔のガリ版印刷を思い出すような風合いの版画をつくります。 持ち物:エプロン、タオル		工芸室	500円	
6/28(日) 13:00～16:00	陶芸	手びねりの技法またはろくろを使って簡単な器をつくります。出来上がった作品は後日お渡しします。(送付の場合有料) 持ち物:エプロン、タオル		陶芸室	1,000円	

四季を食べる講座 minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。
エプロン、三角巾をお持ちください。

日時	名称	内容	申し込み方法	その他
4/19(日) 10:00～13:00	赤ちゃんに関する 祝い	“帯祝い”から“お食い初め”まで…人生の最初の儀礼に食べる物ってなんでしょう?	当日受付 (30分前より)	●会場 生活体験館 ●参加料 300円 ●定員 20名
5/8(金) 10:00～13:00	サナブリと 田植えぼち	田植えの時に食べたのは田植えぼち、田植えが終わったときに行う行事がサナブリです。		
5/17(日) 10:00～13:00	手作り豆腐	毎年好評の地元産大豆から作る豆腐です。ちゃんと豆の味がしますよ。		
6/2(火) 10:00～13:00	大豆は大事	昔、大豆は田のあぜで作られ、一年をとおして食べる、なくてはならない食材でした。まさに大事な大豆。		
6/21(日) 10:00～13:00	梅干し	梅干しを自分で作ってみませんか?基本がわかれば、次は自分好みの梅干しをつくることも!		
7/7(火) 10:00～13:00	池祭りとうどん16パイ	市内加茂野町に今もある“池祭り”。昔、うどんを打って食べた地域もありました。	事前申し込み (6/2(火)～6/16(火))	

定期講座 minokamo city museum

■申し込み宛先 みのかも文化の森「定期講座」係 ※希望講座を必ずご記入ください。
■支払い方法 受講料などは、講座受講日にお支払いください。

名称・内容	日時	申し込み方法	会場	受講料など	定員
おとなのための植物観察会 大人を対象にした植物観察会。市内をゆっくり歩きながら四季折々の表情を観察していきます。 持ち物:おにぎりなどの軽食、飲み物、筆記用具 帽子、動きやすい服装	4/26(日)、5/23(土)、7/4(土) 10/24(土)、11/28(土)、3/26(土) 各回10:00～13:00	事前申し込み (3/17(火)～4/10(金))	美濃加茂市内 各地	各回 100円	20名程度 (高校生以上)
のんびり里山観察会「里山のめぐみ」 昭和村北部未利用地の里山で、それぞれの季節に合わせた自然体験講座を実施します。 持ち物:おにぎりなどの軽食、飲み物、筆記用具 帽子、動きやすい服装	5/9(土)、6/13(土)、7/11(土) 10/10(土)、3/12(土) 各回9:30～12:00	事前申し込み (3/20(金)～4/12(日))	文化の森(初回) 昭和村北部 未利用地 (2回目以降)	各回 100円	20名程度 (小学生以上)
はたおり講座(初級) 初心者を対象にしたはたおり入門講座です。 美しい布を織り上げます。 持ち物:弁当	5/14(木)、21(木)、28(木) 6/4(木)、11(木) 各回10:00～15:00	事前申し込み (4/7(火)～4/28(火))	生活体験館	4,500円 (受講料 + 材料費)	5名